

2018年4月5日

SOMPOホールディングス株式会社

岩手県の地域団体と事業を共創する「デザイン思考ワークショップ」を開催 ～ 岩手と東京の合同メンバーが「住民間のコミュニケーション体験」のアイデアを共創 ～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」と株式会社プライムアシスタンス（代表取締役社長：徳岡 宏行、以下「プライムアシスタンス」）は、岩手県陸前高田市で、地域の社会的課題を解決することで新たな事業創出の実現を目指す「デザイン思考ワークショップ」を3月30日（金）に開催しました。

1. ワークショップの内容

SOMPOホールディングスおよびプライムアシスタンスの社員と、NPOなど地域団体のメンバー合計13名で「震災復興後の住民間のコミュニケーション体験を新しくデザインする」をテーマにデザイン思考のワークショップを通じてさまざまなアイデアを創出し、プロトタイプ（試作品）まで制作しました。

（開催内容） http://www.sompo-hd.com/news/topics/2018/20180316_1/

2. 参加メンバーの声

- ・「都市部の企業から陸前高田の小さな組織に移って、都市と地方の働き方や考え方の違いがすごく大きいことに気付きました。そういう部分を情報提供しながら、地域が地域らしく伸びる方法をSOMPOさんと一緒に考えられたら素敵だな、と思います。」
- ・「今回は、短時間でのワークショップでしたが、時間をかけて取り組めたら、何かが変わりそうな予感。高校生などを巻き込めたら、関東にいなくても学べると感じてもらえ、人口流失も防げるかも。」



インタビューを通じて具体的な顧客像を設定し、ニーズや潜在的な欲求と課題を定義



定義した課題を解決する住民間のコミュニケーション体験のアイデアをブレスト



有望なアイデアのプロトタイプを制作し、ユーザーに体験してもらいテストと改善を実施

3. 今後について

ワークショップの結果をふまえ、SOMPOホールディングスとして取り組むべき地域課題を選定し、引き続き地域団体のメンバーと具体的な解決策や事業アイデアを継続して検討していく予定です。

SOMPOホールディングスは、本取組みを通じて、新たな形で地方創生を支援するとともに、「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」の達成に向けて取り組みます。